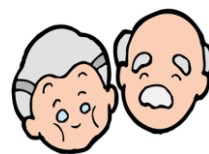


【ユニバーサルデザイン推進委員会】質問・提案



「高齢者が住みやすいまちづくり」について

毎年高齢化が進み、福山市においても、65歳以上の人口は総人口の4分の1を超えている。年を重ねていくと、身体に変化がでてきて、足腰が弱くなったり小さい字が読めなくなったり、音が聞きづらくなったりする。今後、誰もが安心して安全に生活するためには、ユニバーサルデザインの考え方でまちづくりを進めることが大切だと思う。

もっとユニバーサルデザインのことを知り、住みやすい町にするための質問と提案

- ①福山市はユニバーサルデザインを知ってもらうために、どんなことをしているのか。
- ②ユニバーサルデザインのポスター・標語やキャラクターを募集して学校やまちなかに貼ったりしてはどうでしょうか。
- ③ユニバーサルデザインの学習会をもっと増やせばいいのではないかな。

①「広報ふくやま」に記事をのせたり、出前講座で説明をするなど、理解を深めていただいています。また、さまざまなイベントのなかで、パネル展示や実際の商品の展示を行いながら、大切さについてお知らせしています。

②多くの人たちに関心をもっていただくうえで、効果のある提案だと思います。今後、どのような方法で実施できるか検討してまいります。

③今後とも、より多くの学習会を実施することにより、思いやりのあふれる、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めていきたいと考えております。

【ユニバーサルデザイン推進委員会】質問・提案の資料

